

三島駅南口の開発に向けて

三島市の持続的発展のために

これまでの歩み

年度	西街区	東街区
S 62	駅南地区再生計画調査 (37ha) ※三島駅前再開発の検討を開始	
H 2		再開発事業推進協議会設立
H 5	一番町街づくり推進協議会設立	
H 6	三島駅前地区地下水等環境影響調査	
H 9	駅前の開発のため、国鉄清算事業団から用地払い下げ (東街区：約0.93ha、西街区：約0.49ha)	
H 20		再開発準備組合設立
H 21	勉強会の開催	事業コーディネーターの選定、権利者合意形成、参画候補事業者協議
H 22	基本構想づくりに向けた調査、検討 (~23年度)、権利者合意形成 (~24年度)	地質調査、参画事業者の公募、選定
H 23	基本計画案の作成 三島駅周辺グランドデザインを策定※現在の再開発の基本方針を作成	参画事業者が辞退 (理由：東日本大震災による影響) →計画事業が白紙化
H 24	再開発推進協議会設立。事業化に必要な条件をクリアできず中止、協議会解散 整備手法などの研究	
H 25	コンパクトシティへの転換や市街地再開発事業の方策について検討 ※UR都市機構の自主調査事業	
H 26		実現性の高い事業スキーム、民間誘導策の検討など
H 27		事業協力者の公募に向けた条件整理、権利者の合意形成
H 28	民間活力を生かすため、公社所有地の単独利用に転換し、事業者を公募	事業検討のパートナーの公募

長い間、市の懸案事項であった三島駅周辺のまちづくりに官民一体で取り組むため、市民や関係団体のご意見を踏まえて、パブリック・コメントなどを実施し、平成24年3月に「三島駅周辺グランドデザイン」を策定しました。その実現に向け、駅前開発が、本格的に動き出します。

東街区は、広域健康医療拠点の整備に向け、事業検討のパートナーを、西街区は広域観光交流拠点に相応しい施設の整備・運営を行う事業者を公募・選定します。湧水など自然環境の保全を図りつつ、民間活力を最大限活用し、市の財政負担にも配慮して取り組んでいく考えです。



三島市の持続的発展には、働く場所の確保や、人や企業から「選ばれる都市」に相応しい駅前づくりが不可欠です。引き続き皆さんのご意見をしっかりと聞きしながら、官民協働で推進して参ります。

◀豊岡武士三島市長

「まちづくりのビジョン~にぎわいのある美しいまち~」 (三島駅周辺グランドデザイン)

三島駅の周辺は、すでに取り組んでいるガーデンシティ、スマートウェルネスに加え、持続可能な経済を構築し、まちのにぎわいを創出する要です。また、楽寿園、商店街、三嶋大社などのエリアを回遊してもらうための起点でもあります。



●東街区：スマートウェルネス シティみしまのフロントエリア

広域健康医療拠点 ▶健康・医療…スポーツツーリズム拠点、運動能力向上教室、医療機能▶子育て…託児所
▶商業…小規模スーパーマーケット、地産地消レストラン・カフェ▶定住…安心して快適な付加価値の高い居住空間▶交流広場 など

●西街区：ガーデンシティみしまのフロントエリア

広域観光交流拠点 ▶国内外の観光客、富士・箱根・伊豆の広域交流
▶ホテル▶買い物…地域の名産品販売店舗▶食事…箱根西麓三島野菜など地元食材アピール▶情報発信…三島・富士・箱根・伊豆の観光情報発信 など



※実際の施設計画やデザインは事業協力者の公募・選定を経て決定されます。

▲東街区イメージ



総合的にバランスのとれた、より良いまちに

三島駅の周辺は、まちの玄関口として多様な業種が揃うバランスの良いエリアに発展してほしいと思っています。そのために、駅南口には、多くの人が楽しめる、にぎわいの拠点が必要です。

駅前と大通り商店街を結ぶ芝町通りも無電柱化され、明るくきれいになりました。こうした中、駅南口の開発には、市内の商店街との回遊性や、まち全体の活性化を図っていく機能の導入が求められます。それにより、三嶋大社周辺や三島広小路駅界隈も含め、さらに街中全体が歩いて楽しいまちになっていくはずですよ。

市外からのお客さまに、よく「楽寿園などの緑やせせらぎはいいね」とお褒めの言葉をいただきます。ガーデンシティなどの地道な取り組みの成果だと実感しています。



三島駅は新幹線駅であるという強みがあり、みんなで力を合わせ、より良くなる可能性があると思います。三島駅南口周辺の開発が進み、さらにバランスの良いまちになることを期待しています。

▲熊澤英治さん

(三島商店街連盟会長)

今は事業化の千載一遇のチャンス



▲井上裕幸さん (三島駅南口東街区市街地再開発準備組合理事長)

平成2年に私たちも参加して最初の協議会が設立されてから、約四半世紀が経過しました。

視察や勉強会などを通じて、さまざまな事例や地権者の思いを見聞きし、三島駅前に相応しいまちづくりについて、議論・検討を積み重ねてきました。しかし、なかなか事業化のチャン

スに恵まれない状況が続いていました。

時が経ち、事業環境が変わる中で、組合施行の事業を検討するため、平成20年に組合を設立。今日まで、三島の玄関口である駅前の活性化のため、市や関係機関と事業化に向けた協議を進めてきました。組合の皆さんと、日夜協力体制の確保に腐心し、三島市の活性化、にぎわいづくりに通じる駅前開発に、ようやく事業者の参画が見込める千載一遇の機会が到来しています。

西街区の整備とスケジュール

これまで検討してきた市街地再開発事業から、土地開発公社所有地を売却し、民間による開発に転換しました。2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、西街区の整備方針にも合致するホテル建設を核として早期の事業化を図っていきます。

今後のスケジュール※事情により変更する可能性有り

- ▶ 8月下旬事業者募集要項公表 ▶ 11月中旬応募受け付け ▶ 12月上旬～中旬審査結果公表 ▶ 平成29年1月中旬基本協定締結 ▶ 平成29～31年設計・建設工事 ▶ 平成32年竣工・開業 (東京五輪前)

東街区の整備とスケジュール

現在、公募の実施方針などを検討しており、平成28年度中に事業検討のパートナーの公募を予定して

います。事業スケジュールなどの詳細は、改めて広報みしまなどでお知らせします。

駅南口周辺の開発についての市民説明会にご参加ください

とき 8月11日 (木・祝) 午後7時～8時30分
 ところ 市民文化会館小ホール※駐車場はありません
 内容 広域健康医療拠点、広域観光交流拠点の整備

の進め方などについて
 定員 先着300人※申し込み不要、直接会場へ。
 問合せ 三島駅周辺整備推進課 (☎ 983 - 2633)